



新潟県

NEW

県立病院ニュース

～病院に関係する全ての人から信頼される病院を目指して～

第149号 平成31年3月 病院局発行

＼ がんセンターに緩和ケア病棟オープン ／

2月1日(金)にがんセンター新潟病院東6階に緩和ケア病棟がオープンしました。
県立病院初と同時に、新潟県がん診療連携拠点病院としても初の緩和ケア病棟です。



緩和ケア病棟の病室はすべて個室



落ち着いた雰囲気の有料個室



患者家族のための控室



開放感のある談話室



簡易キッチンが付属した談話室



そもそも緩和ケアとは何でしょうか？

最近では報道される機会も増えていますが、「何をすることなのか？」までは、伝えられることが少ないと思います。

日本緩和医療学会が取り組む緩和ケア普及活動「オレンジバブルプロジェクト」では、主にがん患者を対象とした緩和ケアについて「がん自体の症状のほかに、痛み、倦怠感などのさまざまな身体的な症状や、落ち込み、悲しみなどの精神的な苦痛を経験します。がんと診断されたときから行う、身体的・精神的な苦痛をやわらげるためのケアです。」としています。このようなケアは既に県立病院全ての現場で実践されていますし、されなければいけない医療です。

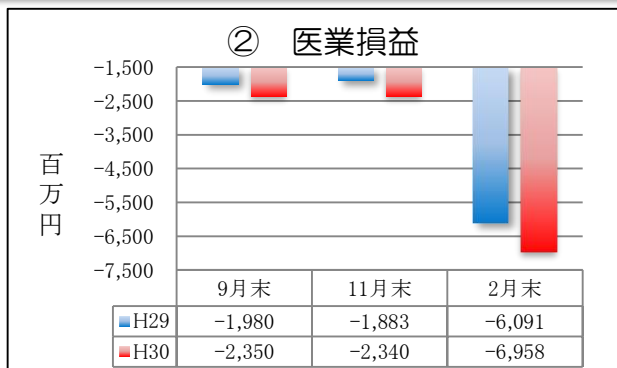
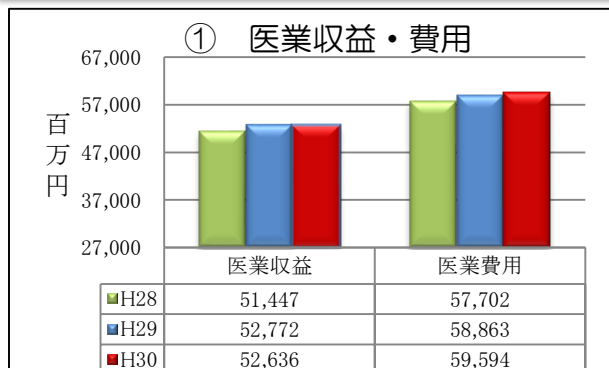
しかし、救急医療で一次救命、二次救命、さらにICU管理など段階に応じた救命処置が必要のように、がん患者の苦痛も全ての医療者が身につけなければならない一次緩和ケア(基礎的なオピオイド投与やコミュニケーション技術)から、集学的治療を要する高次緩和ケア(放射線治療・神経ブロックを併用した鎮痛や、精神科の受診を要する抑うつなど)まで幅があります。

県立がんセンター新潟病院緩和ケア病棟は、①高次緩和ケアに関する臨床実践・研究とともに、②医療者の育成を目標に設立されました。緩和ケアは臨床研究や実践が不十分のまま、ニーズがより大きくなりつつある領域です。私たちは、緩和ケアに興味を持たれた皆様と共に学び、働き、時に悩む事を大切にしています。

詳しくは、がんセンター新潟病院緩和ケア科ホームページ
(<http://www.niigata-cc.jp/treatment/kanwa.html>)をご覧ください。

2月までの決算状況（病院事業会計）

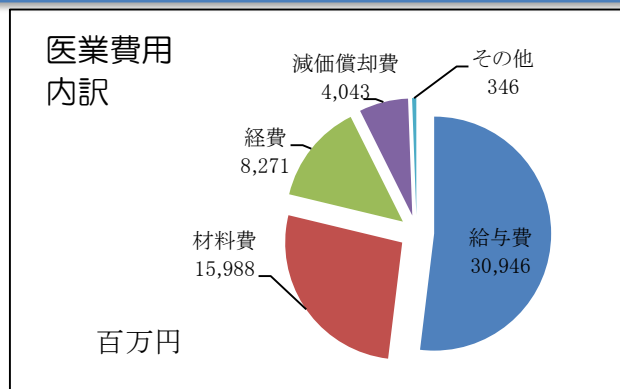
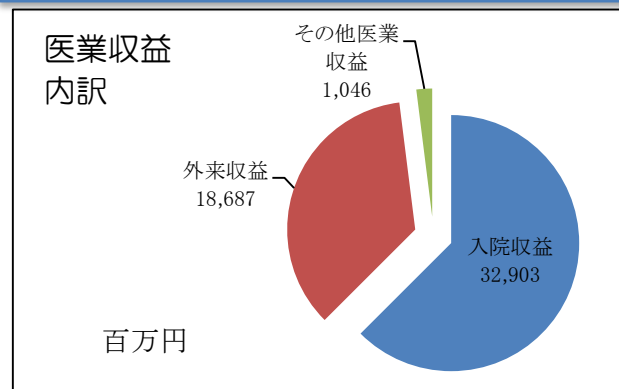
1 医業損益の状況



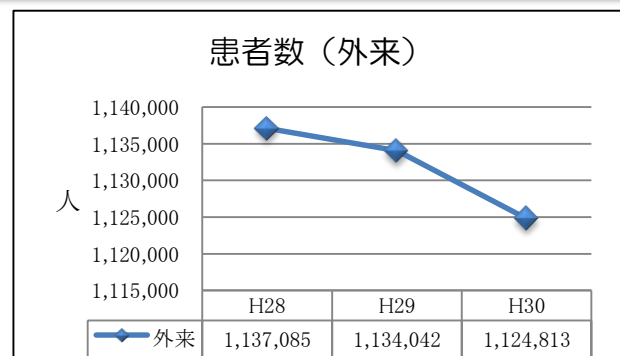
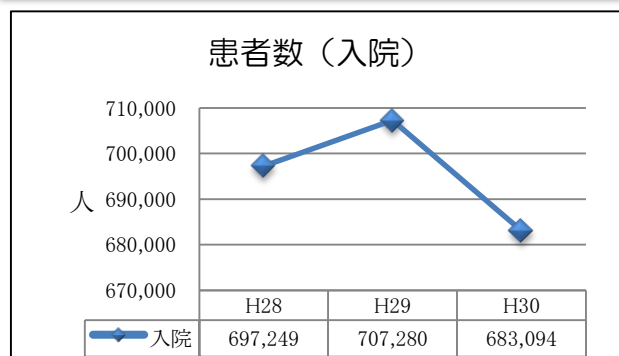
平成31年2月までと平成30年2月までの状況を比べると、医業収益は約1億4千万円減っている一方、給与費・材料費・経費などの医業費用は約7億3千万円増えています。（図①）

その結果、いわゆる本業の損益に当たる医業損益は、約8億7千万円赤字が増えています。（図②）また、給与費が12月に増えるため11月に比べ赤字が増えています。

2 医業収益・医業費用の内訳



3 患者数の状況



【まとめ】

前号（11月までの決算状況）から3か月経ちましたが、前年度よりも医業損益の赤字が増加しており、平成30年度決算では、平成29年度を大幅に超える赤字決算になることが見込まれます。この状態が続くと内部留保資金の不足等危機的な経営状況となりますので、収益確保・費用縮減などの経営改善に一層取り組んでいく必要があります。

B S C 成果発表会を開催しました

賞	病院名	部門	発表者
		タイトル	
最優秀賞	柿崎病院	看護部	板垣看護師長
		地域包括ケア病床の効率的運用	
優秀賞	精神医療センター	社会復帰部医療福祉科	高坂社会復帰副部長
		医療福祉科H30年度BSC成果発表	
審査員賞	がんセンター	看護部	鈴木看護師長
		入退院支援の充実を計り病院経営に参画する	
エントリー賞 (順不同)	新発田病院	診療部臨床検査科	芳賀臨床検査技師長
	「信頼される医療」を臨床検査で支える		
	松代病院	看護部	倉繁看護師長
「地域にねぎした患者中心の丁寧な看護」をめざして			
加茂病院	薬剤部	木村薬剤部長	
加茂病院薬剤部BSC —改善の継続 2年間を振り返って—			

3月5日（火）、今年で4回目となるB S C 成果発表会を開催しました。6病院からエントリーがあり、審査の結果、柿崎病院看護部の取組が最優秀賞を受賞しました。発表資料は各病院に送付していますので、今後の取組の参考としてください。

新潟県立十日町看護専門学校（仮称）開校に向けた準備を進めています



県立看護専門学校設立準備班では、来年4月の標記学校の開校に向けて準備を進めています。

今年度におきましては、実習施設や講師の依頼にご協力いただきありがとうございました。

広報については、左記パンフレットを作成し、現在県内の高校を中心にPR訪問を行っているところですが、指定申請書（6月末提出期限）の提出後には学生募集の活動が可能となるため、6月～7月頃から入試に関する情報周知等、学生募集に向けたPRを進めていく予定です。

ご家族やお知り合いの方等にご紹介いただきますようよろしくお願いいたします。



「十日町市医療福祉総合センター（仮称）」
＜今年秋頃竣工予定＞内に整備しています。

↑新潟県ホームページにも掲載しています。
「新潟県 十日町看護 パンフレット」で検索ください。

平成29年度の取組状況に対する客観的評価

県立病院経営委員会における主な意見については、これまでも本ニュースでお伝えしてきたところですが、このたび、同委員会から「新潟県病院事業の取組方針」の平成29年度取組状況に対する客観的評価の報告がありました。

現在の経営状況が継続するとした場合には、今後、内部留保資金不足の可能性あることから、持続可能な経営の実現に向けて、評価結果及び意見・提言を踏まえ、可能なものから取り組み、徹底した経営改善に努めていきます。

評価項目	自己評価		客観的評価
	平均点	評価	判定
1. 医療機能等に関する事項			
① 県民から信頼される病院づくり調査	1.5	B	△
一番身近に感じる県立病院の信頼性			
うち過去3年以内利用者の信頼性			
病病連携・病診連携の対応への満足度（医師）			
病院機能評価認定病院数			
② 研修教育機能〔基幹型臨床研修病院〕	2.7	S	○
次年度初期臨床研修医採用予定者数			
学生等の病院実習受入数			
学生等の病院見学受入数			
2. 収益的収支に関する事項			
① 経営指標の状況（医業収支比率）	2.0	A	△
② その他経営指標の状況	1.6	B	△
経常収支比率			
病床利用率			
職員給与費対医業収益比率			
入院診療単価			

評価基準	自己評価	客観評価
十分な成果がある	S	◎
一定の成果がある	A	○
成果はあるがまだ不十分	B	△
あまり成果がない	C	×

3. 総合評価（委員会コメント）

- 人口減少や医師不足など、医療を取り巻く環境変化に対応し、地域で必要とされる医療提供体制を確保していくためには、持続可能な経営に向け、経営改善に不断に取り組む必要がある。
- 県立病院が役割を果たしていくために、持続可能な経営に向け必要と考えられる取組について、以下のとおり列挙したので、可能なものから取り組まれたい。

1 経営改革に関する事項

- | | |
|-------------------|-----------------|
| (1) 経営ビジョンに基づく運営 | (2) 経営資源の有効活用 |
| (3) 病床機能・規模の適正化 | (4) 人件費の適正化 |
| (5) 医療の質の向上 | (6) 一般会計繰入金の適正化 |
| (7) 健康寿命の延伸に向けた取組 | |

2 県立病院の役割・あり方、経営形態の見直し等

次期中期的経営方針の策定に向けて、病院類型別及び各県立病院の役割・あり方を明確化するとともに、ブロック内の連携、再編・ネットワークや、より効率的な経営形態の見直しを検討する必要がある。

住民ニーズ調査結果（概要）

調査概要（毎年実施）

- (1) 調査対象：県立病院（精神、リウマチを除く）の圏域内に居住する満18歳以上の男女
- (2) 抽出方法：各市町村の選挙人名簿からの系統無作為抽出
- (3) 調査方法：郵送調査
- (4) 調査期間：H30.8.10～27
- (5) 回答者数：H30/1,976人（回収率38.0%）

調査結果

【信頼度】

全体の信頼度は、77.9%(H29：70.7%)と、前年度に比べ上昇

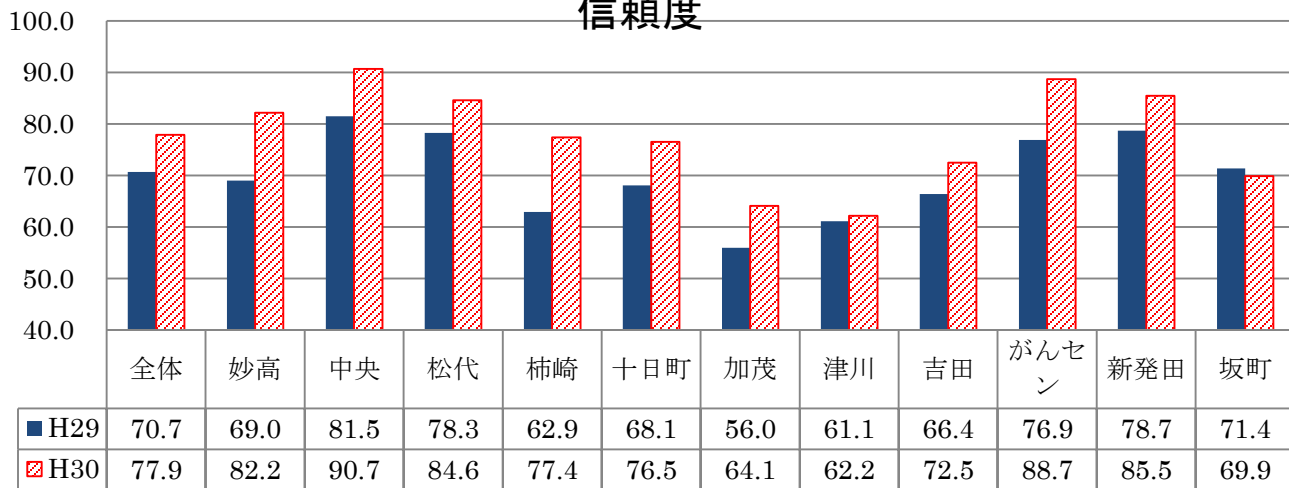
病院別では、11病院中10病院で上昇

【満足度】

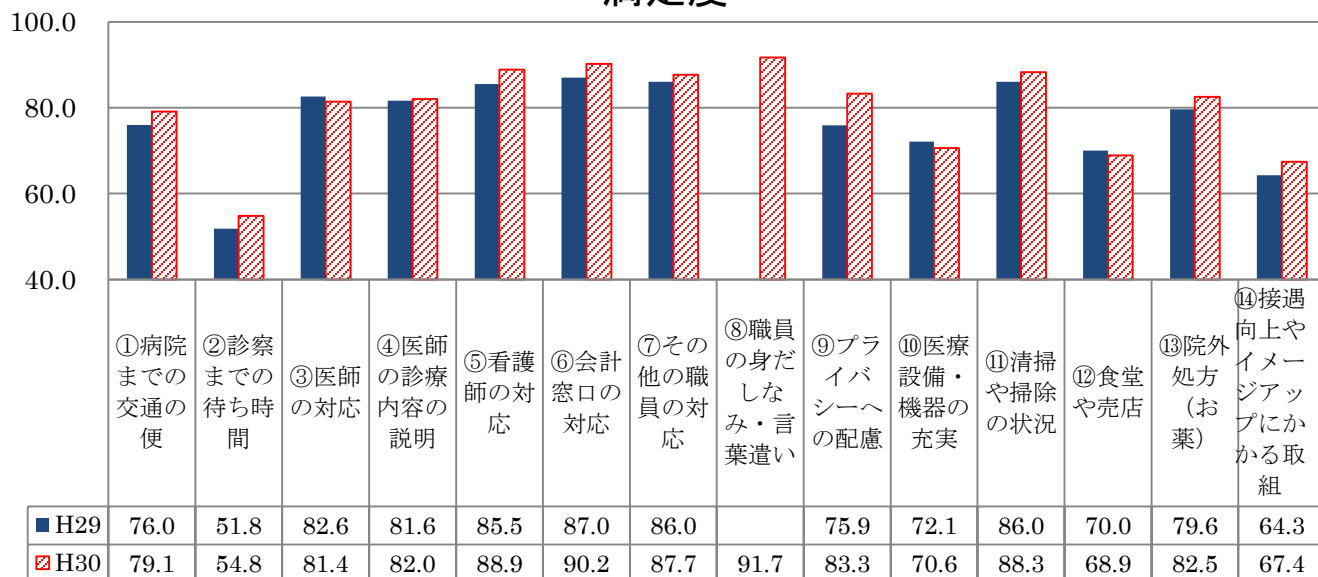
項目別では、14項目中10項目で上昇、最も高いのは、「職員の身だしなみ・言葉遣い」(91.7%)(H30に設問追加)、最も低いのは「診察までの待ち時間」(54.8%)



信頼度



満足度



職員意識調査結果（概要）

調査概要（隔年実施）

- (1) 調査対象：全県立病院職員
- (2) 調査方法：各病院でアンケート用紙を配布・回収
- (3) 調査期間：H30.8月
- (4) 回答者数：H30/3,789人（回収率80.3%）

調査結果

【総合満足度】

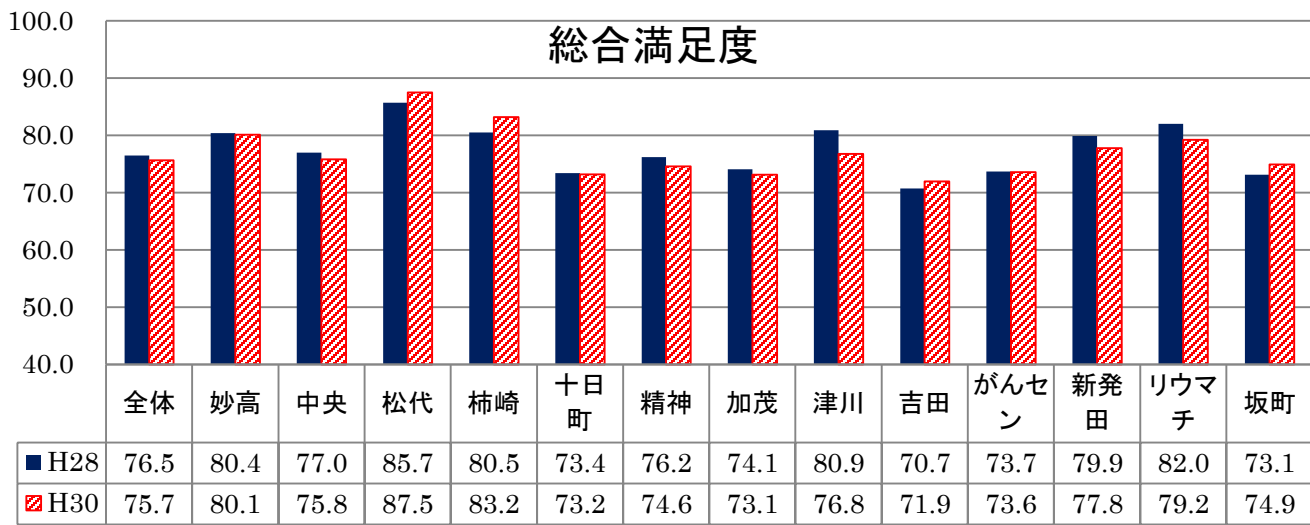
全体の総合満足度は、75.7%（H28：76.5%）と前回に比べやや低下
病院別では、13病院中4病院で上昇、9病院で低下

【項目別満足度】

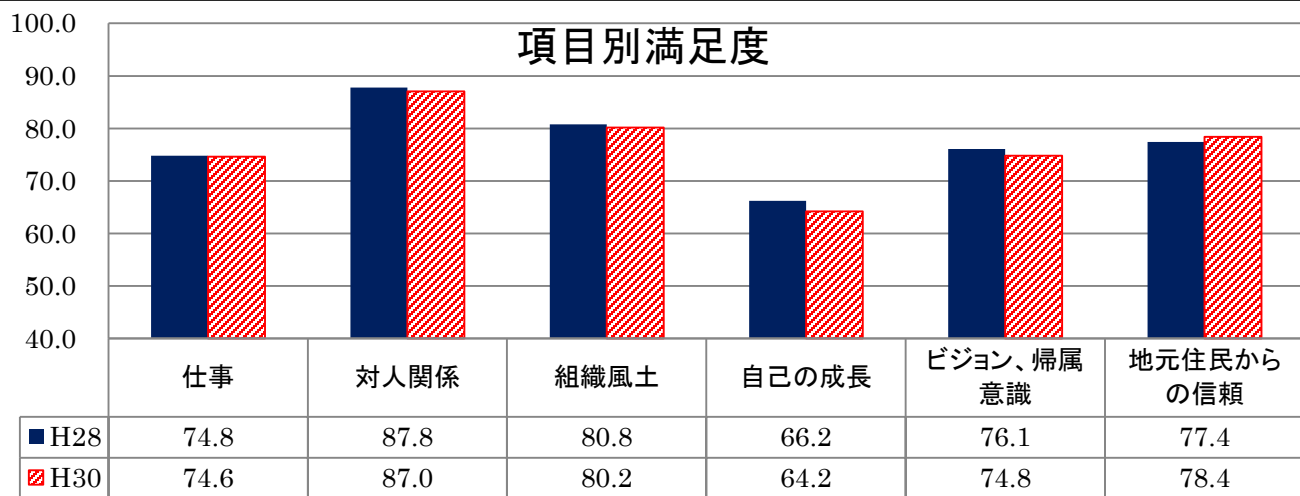
項目別では、1項目上昇、5項目で低下



総合満足度



項目別満足度



【編集後記】

今号で取り上げた十日町看護専門学校の準備状況等について、いよいよ来年4月に開校ですが、一人でも多くの学生に興味を持ってもらえるよう、一丸となってPRを進めていければと思っています。 厳しい冬も終わり暖かくなってきましたが、健康、交通事故等にお気をつけて皆様お過ごしください（業務課：S）